

モノづくり・IT・エネルギー

学識者ネットワーク発足

関西圏 産学官連携を強化

ネオクラスター推進共同体

経済産業省の「産業クラスター計画」を運営するネオクラスター推進共同体（事務局＝関西情報・産業活性化センター）は活動を強化する。モノづくり・IT・エネルギー分野で、産学官連携の活動を推進していくため、関西の大学の学識者ネットワークを9月中に立ち上げる。また5年以内の実用化を目指す製品開発や、新事業創出などを行う支援グループとして5件を認定し、さらに06年度中に17件以上を認定する。

製品開発支援など 今年度17件超認定

学識者ネットワークは、未来型情報家電・ロボット、高機能部材、高効率エネルギー機器などの研究テーマにかかわる関西圏の大学研究者を対象に構築する。100人以上で構成し、柔軟に産学官連携体制が組めるよう、活用しやすいデータベースも構築する。

また同共同体は製品開発の支援先として「超音波洗浄の未来」「温度差発電研究」「低温型再生熱交換器の開発」の3テーマを認定した。さらに06年度中に14テーマ以上を選定していく。将来のクラスター活動への発展を期待する研究会などを対象に支援する

「特定コミュニティ」の認定も推進していく意向だ。
次世代型航空機部品供給ネットワーク（OWN）、八尾レーザー微細

月刊工業

加工研究会は認定済みで、近くウエアラブルコンピュータの開発グループを認定する方針。

またクラスターに参画する個別企業（現時点で約520社）の支援も強化する。専門家による技術評価事業や優良企業表彰などを実施、クラスター活動の原動力にしている。

産業クラスターは4月に今後5年間の第II期計画が始動。近畿では近畿経済産業局の支援のもとで、ネオクラスターを言めバイオ、環境の計3プロジェクトが動いている。